

岐阜県代協ニユ

平成29年4月
vol.265



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

『会長挨拶』

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

あぜち まさはる

会長 畦地 正治

平成28年12月1日「ユネスコ無形文化遺産」に登録された33件の「日本の祭りの山・鉦・屋台行事」のうち、岐阜県内の登録は飛騨地方の「高山祭」、「古川祭」、西濃地方に初夏の訪れを告げる「大垣まつり」の3件です。いずれも今年は登録されてから初めての開催となり、各地大いに盛り上がりを見せています。4月には飛騨に春を告げる「春の高山祭」、「古川祭」が行われ、両地にたくさんの人が訪れ賑わう様子が報道されていました。5月には「大垣まつり」が行われるのですが、更なる盛り上がりを見せてくれるかと思えます。

「大垣まつり」は360年余の歴史がある祭礼で、大垣藩初代藩主の戸田氏鉄公が神社を再建整備したおりに、10か町が10両の軸を曳き出したのが始まりと伝えられています。地域やお祭りによっての違いや装飾の違いなどによって「山車・鉦・屋台」と呼び方が変わるようですが、大垣まつりでは『軸』(やま)と呼ばれています。藩主から賜った3両の軸と町衆の軸が併存する形態は全国的にも珍しく、また中京圏と近畿圏の東西文化の交わりを示す貴重な祭礼行事とのことです。大垣の『軸』は造られてから幾度の災害を経験しています。そしてその度に各地の職人の手によって蘇ってきました。平成24年に復元された2両の『軸』と併せて全13両の『軸』が勢揃いし、新緑の美濃の山を背景に、水門川の水面を鏡に、からくり軸や、おどり軸などが城下町を巡行し、華麗な祭り絵巻を繰り広げます。私が子供の頃は、5月14日が試楽、15日が本楽で、市内の小中学校は14日が半日、15日が全日休校となり、楽しみの一つでした。しかし時代に合わせて変化し、平成7年より毎年5月の15日までの15日に近い土・日曜日に行われるようになり、今年は13、14日の開催です。初夏の大垣を彩る祭り囃子、たくさんの露店、幻想的な夜宮の灯り。ぜひ一度「大垣まつり」の魅力を探りにお越しください。



さて、4月に入り5支部すべての定時総会が行われました。各支部の支部長・役員の皆様、大変お疲れ様でした。私は岐阜支部の総会に参加させていただきました。現在、代協ニュースに登載いただいております保険ジャーナリストの中崎 章夫 氏を講師に迎えた『ゆとりを軸にしたコンパクト代理店モデル！』の講演にも参加をいたしました。代理店経営をめぐる変化、その変化への対応、そしてこれからの代理店経営に求められるものなどについての講演内容で一代理店経営者として今後の経営に大いに活かしていきたいと思いい大変興味深く拝聴いたしました。

そして、既に開催通知がお手元に届けられていることと思いますが、5月17日には岐阜県代協定時会員総会を開催いたします。昨年の総会において平成28年度の事業計画の中で、代協活動の原点ともいえる支部・委員会の活性化を図ることをご提案させていただきました。その結果、理事役員、会員の皆様のご協力をいただき、他県代協にもひけを取らない充実した活動を行うことができたことと感謝しております。平成29年度も引き続き、支部・委員会の更なる活発な活動を期待いたし、平成29年度の事業計画のご提案をいたしますので会員皆様のご出席をお願いいたします。また、総会後の記念セミナーは講師に(株)インターリスク総研 新領域開発室 マネージャー・上席コンサルタント 蒲池 康浩氏をお招きし、「自動運転技術に関する最新動向と将来像」～真の「最前線」を知る～について講演いただく予定ですので皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

1 p・・・会長挨拶／目次	8 p・・・中さんの保険諸国漫遊記 (132)	①
2 p・・・スケジュール／事務局より	9 p・・・	②
3 p・・・支部活動報告①	10 p・・・	③
4 p・・・支部活動報告②	11 p・・・『街道シリーズ』(飛騨街道 4)	松尾 一
5 p・・・支部活動報告③	12 p・・・提携事業者広告掲載①	
6 p・・・会員投稿	13 p・・・提携事業者広告掲載②	
7 p・・・代理店紹介 (東濃支部)	14 p・・・提携事業者広告掲載③	
	15 p・・・委員会報告・編集後記	

スケジュール/事務局より

～ スケジュール ～

日付		主催	行事・議題・内容など	開催場所	
4	7	金	飛騨	支部総会(18:00～)	八千久
	11	火	中濃	支部総会(11:00～)	日本ラインゴルフクラブ
	11	火	東海ブロック	第1回 東海ブロック会議(14:00～)	愛知県代協事務局
	13	木	東濃	支部総会(11:00～)	みわ屋
	16	日	CSR	「長良川を美しくしよう運動」(7:00～)	長良川河川敷
	18	火	岐阜	支部総会(14:00～)	メディアコスモス
	19	水	東海ブロック	第1回 組織委員会(15:00～)	愛知県代協事務局
	21	金	西濃	支部総会(14:00～)	スイトピアセンター
	21	金	東海ブロック	第1回 教育委員会(15:00～)	愛知県代協事務局
	24	月	県代協	【年会費振替】	
	24	月	東海ブロック	第1回 企画環境委員会(14:00～)	愛知県代協事務局
	26	水	企画環境	委員会(11:30～)	サイゼリア
	26	水	組織	委員会(14:00～)	県代協事務局
5	9	火	中濃	例会(10:30～)	太田宿
	9	火	飛騨	役員会(13:30～)、例会(13:30～)	損ジャ日本興亜 高山支社
	10	水	西濃	例会(11:30～)	大垣 五右衛門
	11	木	東濃	例会(11:30～)	みわ屋
	17	水	県代協	定時会員総会(13:30～)	長良川スポーツプラザ
	17	水	岐阜	役員会(12:00～)	長良川スポーツプラザ
	18	木	岐阜	東ブロック会(12:00～)	かにの華
	19	金	岐阜	西ブロック会(12:00～)	ひしの寿司
	25	木	ゴルフ同好会	ゴルフ同好会コンペ	岐阜関カントリー倶楽部
6	16	金	日本代協	定時総会(10:00～)	損保会館
7	5	水	県代協	理事会(13:30～)	瑞穂総合センター(予定)

～ 事務局より ～

【総会日程のお知らせ】

★県代協定時会員総会 平成29年 5月17日(水) 13:30～
長良川スポーツプラザ 大会議室

※ 上記、県代協総会を都合上欠席される正会員の方は必ず委任状をご出状いただきますようお願いいたします。

※ 賛助会員、保険会社のみなさまには、ご案内をさせていただきました総会終了後の記念セミナー及び懇親会の出欠席のご連絡をいただきますようお願いいたします。

岐阜県代協事務局

TEL : 058-329-0050 FAX : 058-329-0040

Eメールアドレス : gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp (担当: 小川百合子)

支部活動報告

【岐阜支部 4 月活動報告】

○ 4 月役員会報告

開催日時 : 平成 29 年 4 月 6 日 (木) 12:00～ 開催場所 : 岐阜県図書館にて
参加者数 : 14/16 名 報告者名 : 井戸貴之

《議題》

① 4 月総会について・・ 4/18 (火) 14:00～ メディアコスモス スタジオ A にて
集合、準備、受付開始等打合せ、15:00～ 中崎章夫様記念セミナー
18:30～ 懇親会 (はなの舞)

② 5 月各ブロック会について

・ 5/18 東ブロック かのの華 ・ 5/19 西ブロック ひしの寿司

③ 6 月合同ブロック会について

AED 講習を消防の方を招いて勉強する。過去に行った事がある方も積極的に参加を願う。

④ 県代協より・・ 4/16 (日) 7:00～ 長良川清掃

※次回役員会 平成 29 年 5 月 17 日 (水) 12:00～ 長良川スポーツプラザ レストラン杏

○ 定時会員総会開催報告

開催日時 : 平成 28 年 4 月 18 日 (火) 14:00～ 開催場所 : メディアコスモス
参加者数 : 出席 32 名、委任状 28 名 報告者名 : 井戸 貴之

《内容》

① 県代協より畦地会長をお招きし、岐阜支部総会を開催しました。

棚橋議長、松野副議長のもと全議案承認を得ることができました。

② 15:00 より、記念セミナーとして保険ジャーナリスト

中崎 章夫氏をお招きして『ゆとりを軸にしたコンパクト代理店モデル!』の講演を行っていただき、
40 名の会員が参加いたしました。会員の皆様のためになる内容でたいへん好評をいただきました。

③ 18:00 より岐阜市長住町にあるはなの舞で岐阜支部懇親会が開かれました。会員、賛助会員、

保険会社社員併せて 38 名の参加があり、
皆様との交流ができてよかったですと思います。

皆様のご協力ありがとうございました。

5/17 (水) には岐阜県代協の定時会員
総会が行われます。



【西濃支部4月活動報告】

○西濃支部ボウリング大会開催報告

開催日時 : 平成29年 3月24日(金) 17:30～ 開催場所 : 大垣ボウリングセンター
参加者数 : 24名(会員20名、東京海上大垣支社2名、損保ジャパン1名、他1名)
報告者名 : 中河 美智彦

終了後、大垣「日本海庄や」にて19:00～懇親会・表彰式開催。

- ・優勝:(株)オフィス養老の野村さん
- ・準優勝:中河総合保険の中河
- ・三位:(株)MSG 保険サービスの渡辺さん

懇親会終了後、有志は大垣市内へ。

これで28年度行事は無事終わりました。

○4月例会報告

開催日時 : 平成29年 4月 5日(水) 11:30～
開催場所 : 大垣「五右衛門」
参加者数 : 参加者13名(会員12名) 報告者名 : 中河 美智彦

《議題》

- ①JCM 村瀬さんによる車買取紹介の依頼とカーリース(軽以外の取り扱いも)説明
- ②委員会報告
・企画環境・・・ディーラーへの注意喚起文書発送報告(3月24日発送)
自動車事故費用共済(岐阜県火災共済協同組合)について
・CSR・・・3月10日(金) 地震保険普及キャンペーンの御礼
4月16日(日) 第一回「長良川清掃」の参加要請
・組織・・・会員増強・年金基金加入のお願い
- ③支部総会 4月21日(金) 14:00～ 大垣「スイトピアセンター」にて
15:30～ 自動車運転体験講習 「マジオ・ドライビングスクール」
18:00～ 懇親会 「ごきげんエビス」
- ④県 総会 5月17日(金) 13:30～ 「長良川スポーツプラザ」にて
両総会への参加要請と返信はがき郵送確認

※次回例会 5月10日(水) 11:30分～ 大垣「五右衛門」

○定時会員総会開催報告

開催日時 : 平成29年 4月21日(金) 14:00～ 開催場所 : スイトピアセンター
参加者数 : 出席16名、委任状19名 報告者名 : 中河 美智彦

《内容》

(株)IP. LINKの水野氏に司会・進行をいただき、(有)ホップの廣瀬氏が議長に選任され、議案審議が行われました。議案全て承認いただきました。総会終了後、場所を「マジオ・ドライビングスクール」に移動し、危険回避研修を行いました。少人数のグループに分かれ、緊急回避やスラローム運転、急制動を行いシートベルトの効果の確認などの自動車運転体験をいたしました。

その後、場所を大垣駅近くの「ごきげんエビス」にかえ懇親会を行い、ファブリカ 平野様にもご出席いただき懇親を深めました。皆様のご協力に御礼申し上げます。



【中濃支部 3月活動報告】

○定時会員総会開催報告

開催日時 : 平成29年 4月11日(火) 11:00～
開催場所 : 日本ラインゴルフ倶楽部
参加者数 : 17代理店18名、保険会社様9名
報告者名 : 福地 誉

《内容》

1号議案 平成28年度事業報告、2号議案 平成28年度決算報告、3号議案 平成29年度事業計画、4号議案 平成29年度予算全て、承認いただきました。皆様のご協力に御礼申し上げます。



※次回例会、勉強会 平成29年 5月 9日(火) 10:30分～ 中山道会館太田宿にて

【東濃支部 4月活動報告】

○定時会員総会開催報告

開催日時 : 平成29年 4月13日(木) 11:00～
開催場所 : みわ屋
参加者数 : 出席13名、委任状13名
報告者名 : 安江 努

《内容》

1号議案 平成28年度事業報告、平成28年度決算報告、2号議案 平成29年度事業計画、平成29年度予算案承認の件全て承認いただきました。皆様のご協力に御礼申し上げます。



※次回例会 平成29年 5月11日(木) 11:30～ みわ屋にて

【飛騨支部 4月活動報告】

○定時会員総会開催報告

開催日時 : 平成29年 4月 7日(金) 総会 18:30～、懇親会 19:00～
開催場所 : 八千久 参加者数 : 12名(県代協1名、役員9名、会員2名)
報告者名 : 清水 公男

《内容》

◎審議事項

- ・平成28年度事業報告承認について…承認
- ・平成28年度決算報告承認について…承認
- ・平成29年度活動計画(案)承認について…承認
- ・平成29年度予算計画(案)承認について…承認
- ・その他 夏の高山市無料繁盛セミナー等について5月例会にて検討

◎懇親会

※次回例会 平成29年 5月 9日(火)
役員会 13:30～
例会 14:00～
損保ジャパン日本興亜 高山支社3階にて



会員投稿 ～ 庭師 誠治のつぶやき ～

庭師の誠治がポツリとつぶやいた。保険屋か！心の底からつぶやいた。生まれ変わったら保険屋だ！

還暦のある日 誠治は30年近く夫婦で営んできた養鶏業を妻のミツエに任せて庭師を始めたいと言いつ出した。その頃の養鶏業は鶏卵の相場に左右され、安値が続くと働けど働けど我が生活楽にならずといったような有様でもあり、養鶏場の近所に住宅が増え大きな問題を抱かえていた。

誠治は6人兄弟の次男坊で実家の下駄工場で働いていた。痩せた色白の実直な青年ではあったが、学校は中卒で学歴もなく工場も次第に下駄が売れ行きをどんどん落としていく様を見て、何とかせねばいかんと考え込む日々が続いていた。結婚当初は給金もなく、実家で食事を共にするといった貧乏一直線のくらしぶりであった。一家の生活費はミツエが内職で結構な額を稼いでいたが、貧乏を脱出するといった稼ぎではなく、ぎりぎりの生活を強いられていた。誠治は相変わらず考え込んでいた。

耳をつんざく高音と子供のはしゃぎ声がかたまする暑い日から庭師の仕事始まりである。夏の終わりから雪が降る頃までが庭師の稼ぎ時である。庭師の朝は早い。朝8時には庭木にハサミを入れている様を考えなくてははいけなかった。暑い夏の夕日がまだまぶしいころ誠治は水を浴びたような様で必死の作業が続いていた。乗用車が一台屋敷の前に止まり涼しげな顔をした洒落た感じの服を着た男性が誠治には異質な人間と映った。男性は爽やかな声で『こんにちは！暑いのに大変ですね』と大きな声で挨拶をした。男性は保険代理店を営んでいた。誠治は苦笑いをしながら会釈をしたが、いい車に乗っていい服を着て、どうやったらあんな世界に行けるのか？・・・頭によぎったが目の前の作業を終わらせないと今日が終われない強迫観念が作業のスピードを上げていった。男性の年齢は45歳前後かな？誠治は自身と重ね合わせた。あの時期俺は何していたかな？誠治はその男性が眩しかった。

結婚当初、下駄工場にて給金もなく考え込んでいた誠治が始めたのは自宅の土間で段ボール箱に数百匹のヒヨコを買い大きくして卵を産ませ生活をして行くといった壮大な計画であったが、土地もなしお金もなし、ないない尽くしの門出になったが自宅だけは借金もなく唯一の財産といえる。しかし誠治にはある強みがあった。何事にも動じない今風というならKY（空気読まん）マイペースな気質が大いに役に立つのだが妻のミツエは嫌でたまらなかった。こんなことがあり、周囲の人間が目丸くした出来事があった。弟の清春と飲んで温泉に入ったが飲み過ぎた清春は何度も温泉に入りがてら寝てしまうといった溺れかけの状況でも誠治は横目で見ながら我関せずの様子で身体を洗っていた。この出来事は後に語り続けられ兄弟でお酒を酌み交わす時には毎回出てくる話の一つだ。

卵は物価の優等生と言われ続けて長い時間が過ぎているのだが生き物相手なので毎日鶏の食事の用意、卵集め（自動はお金がかかり過ぎて×）糞の処理など毎日盛り沢山の仕事を消化していかなければならないのかかわらず赤字が続く日々もあるといった過酷な仕事である。

誠治は滴る汗を拭こうともせず玄関から入っていった男性のことが気になっていた。何屋さん？銀行マンかな？証券マン？俺も一度はスーツをバリッと着て、高級車に乗って、お客さんの玄関前に止めて、オーデコロンなんかつけてカッコつけて、若い姉ちゃんなんか乗せて等と思いつながら一日13,000円の稼ぎ終わるのは片づけやなんやらで19時かな？仕事が終わる先程の男性のことを聞いた。年齢は知らないが保険マンとのこと。誠治はつぶやいた！保険屋か！出来るなら俺もやってみよう。

いい服！いい車！いい家！いい女！欲しい好きなことして定年がなく時間も自由で社長なんかといろいろ喋ってなんかカッコ良くない！タブレットで仕事！なんか広告に出てくるカッコイイ営業マンみたいでいいね！そんなもって収入も1千万以上貰えたらいいね！でも一番は屋敷の人が最後に言った言葉。あの人に出会って本当に良かった。そんな事を言ってもらえる仕事に憧れを持ったな。好きなことしてお金もらえて感謝されて。

誠治は心からつぶやいた。生まれ変わったら保険屋だ！



(投稿者 庭師の誠治)

代理店紹介

東濃支部 株式会社伊藤木材店（代理店 付知 伊藤）

<代理店名>

株式会社伊藤木材店
（代理店 付知 伊藤）

<所在地>

〒508-0351
中津川市付知町10177番地1
Tel 0573-82-2266
Fax 0573-82-4434

<代表者>

代表取締役 伊藤 文郎

<スタッフ>

5名（男 1名、女 4名）
伊藤 一恵、山内 恒子 他



<取扱保険会社>

損保	東京海上日動火災保険株式会社	計	1	社
生保	東京海上あんしん生命保険株式会社	計	1	社



<略歴>

昭和45年頃 伊藤木材店（建築、製材、木材販売）の他保険事業開始
平成2年 株式会社伊藤木材店へ法人化と共に保険部門を分離する。
平成22年 保険部門を“株式会社伊藤木材店”へ事業統合
平成25年 現在のバイパス店に代理店業務を移転

<事務所の環境>

道の駅「花街道付知」より1キロほど下呂方面へ向かった交差点にあり、色々な商店が連なった場所で、アクセス抜群です。
木製品も展示しており、お楽しみのギャラリーありの事務所です。



<経営方針>

お客様を第一に考え、安心・信頼して頂ける代理店を目指しています。
皆様のニーズにお応え、頼れる代理店を目指しています。

生産性向上に「契約確認」の基本動作の戦略性

◇動機はホタルイカ、瑞龍寺から始まる高岡見物

旅も便利になったもの。大人の休日倶楽部会員限定の北陸フリー切符（大宮発で21000円）を利用して、4月10日から2泊3日で、北陸を旅した。氷見のホタルイカが食べたかったことが主たる動機だったが、初日は快晴、富山経由、新高岡下車で、まずはバスで、瑞龍寺へ。国宝の山門や仏殿、法堂など7堂伽藍の壮大で厳肅、武骨なたたずまいの禅宗寺院（曹洞宗）瑞龍寺を見た後、寺職員の方の思わぬ好意で、高岡駅まで送ってもらう。

駅で自転車を借り、古城公園の桜、高岡大仏、山町筋の土蔵造りの町並み、さらに金工、漆工、染色などの優れた工芸技術の装飾が車輪や高欄（こうらん）、長押（なげし）等に施された日本でも屈指の華やかな山車（やま）が展示された御車山会館の見学、高岡銅器（梵鐘から、仏像、仏具、アクセサリーまで、日本の銅器生産の95%のシェアとか）の鋳物職人街である金谷町通りなどを見て回れたのは思いのほかの収穫であった。宿は氷見の料理民宿青柳、ホタルイカの刺身や天ぷらを中心に白エビや地魚の船盛はさすが来た甲斐があった。富山湾越しに立山連峰の白い峰々がぼんやりと見られた。

◇奥方御殿「成巽閣（せいそんかく）」は一見の価値

2日目は金沢に出た。駅構内でまず早めの昼食として、構内のまいもん寿司で、のどぐろや白エビなどの入ったランチをいただきまずは腹ごしらえ。あいにくの雨の中ではあったが、金沢城石川門と兼六園に挟まった百間掘り通りの両側に咲き誇る桜が素晴らしかった。兼六園は久しぶりであったが、桜の開花期間の入場料無料でラッキーだった。兼六園越しに金沢城東南（巽＝たつみ）の方角に13代の前田藩主により建てられた成巽閣（せいそんかく、1863年、鷹司家出身で12代前田公奥方、真龍院隆子の隠居所として建てられた御殿）でたまたま開催中の加賀藩前田家に伝わる雛飾りの豪華な展示並びに屋敷内の斬新なデザインなどを見ることができた。

◇山城温泉の古元湯に浸る幸せ

2日目の宿は山代温泉の2年前リニューアルオープンした界加賀（前身は同温泉最古の360年の歴史を持つ白銀屋）。ベンガラ塗り、うだつのある建物を一部残しているのがいい。宿はさすが星野リゾートの運営だけにスタッフのサービスの行き届いていることや料理、器、インテリアなど細やかな配慮がみられ予想以上に満足度は高かった。宿の前にある明治期の元湯を復元し、九谷焼のタイルやステンドグラス、木部は漆塗り仕上げという古元湯も浸れた。ただし流し場などはない。さらに、現在も共同浴場として地元住民や旅人でごった返している現在の元湯にも入ったが、やはり古元湯は素晴らしい。唯一残念だったのは、すぐ近くにある大正4年秋から半年滞在し、文化サロンと化していた北大路魯山人の寓居いろは草庵（吉野家旅館の元別荘）を尋ねられなかったことだ。

◇永平寺教団の隆盛と道元、寂円の思い

3日目は、福井の曹洞宗の修行道場のある永平寺に初訪問。道元以来の出家主義（原理主義）の路線を転換し、経営才覚で、世俗化に踏み出し曹洞宗の教団拡大を担った永平寺三世徹通義介（てつとうぎかい）により造られたという、山の傾斜を利用した壮大な7堂伽藍、200名からの修行僧（雲水）のお勤めぶりも拝見できたそれにしても広大な伽藍、回廊をスリッパで一周できる巨大なるオープンな回遊式のツアーコースがそこにあった。人里離れた地で晩年、孤高のストイックな座禅を説いたが、道元没後、師を慕って中国から来た寂円は大野市の宝慶寺（ほうきょうじ）で出家主義を貫いたというが、その後義介が永平寺を追われ、さらに危機に陥った永平寺を、宝慶寺の寂円を継承した義雲が五世として立て直しを図ったというか

ら面白い。この寂円については、司馬遼太郎が街道を幾シリーズの『越前の諸道』で、宝慶寺を訪ね紹介しているのが参考になった。

◇越前おろし蕎麦とソースかつ井で

帰途、永平寺町松岡のそば粉100%のおろし蕎麦の人気店けんぞう蕎麦店に行ってみたかったが遠くままならず断念し、福井駅近くで昼食、前に福井に来た時駅そばでたまたま発見した遊歩庵あみだそばで100%の越前おろしそばを食べたが、これ一品にかけるこの店のこだわりが伝わり、実に美味かった。さらに歩いて片町のソースかつ井の西洋軒総本店に往き、3種盛りスペシャルかつ井（かつ、えび、メンチ）をいただき、今回のかみさんとの二人旅の目的もすべても終了した。



◇成熟期ゆえのお客様からのサイン

保険市場は間違いなく成熟期の様相を呈している。かつての成長期のように物価上昇や好景気による物の価値アップによる自然増が見込めた市場とは明らかに異なっている。個人向け生保市場に見られる保険ショップ展開も、高価な保険に入っているお客様が保険評価と見直しや、相談対応が多くのお客様の共感を呼んだ結果ともみられ、今や生保のみならず火災や自動車保など損保主力商品まで取扱いショップも出てきているのは留意したい。こうした傾向は何を意味しているのか、お客様は、今自分の入っている中身に納得感がほしい、きちんとした情報提供と相談に的確に載ってほしいというサインを見逃してはならない。

保険が売りにくい時代になっている。売り上げが伸びず苦戦する代理店が多い。解約は不満足は無言の意思表示ともいわれる。聞けば、新規が取れない、契約落ちが目立つという。なぜそうなるのだろうか。既存のお客様（リピート客）を大事にしているのか、新規、新規を追いかけ既存のお客様のことをないがしろにしてはいないか。しっかりコミュニケーションが取れて納得ずくの関係が築けているのか。スタッフの営業力のなさを嘆き、スーパー営業パーソンの獲得をいたずらに夢見るのではなく、どの代理店でもできる既存顧客（リピート客）の大切さを再確認し、改めて、どんなサービスを望んでいるのか、点検してやる必要がある。

◇リスクや契約確認の戦略性

お客様にとって身の回りのリスクとは何か、事業法人が抱えるリスクとは何か、まさにリスク管理、リスクマネジメントの観点からの、お客様が膝を叩いて納得し感動する提案が改めて求められる時代になっている。マーケットが成熟し行き詰まり感がある中で、大事なのは、新規をいたずらに追い求めるのではなく、既存の顧客の深掘りである。ところが実際にはこの逆を志向している代理店が多く自らの首を絞める結果になっている。既存のお客様をほったらかしにしているほどもったいないことはない。これでは不満足指数は間違いなく上がってしまう。すでに保険を付けているお客様は、少なくとも代理店の提案を聞く耳は持っているからだ。このような成熟期でも確実に成果を上げている代理店の共通項は、お客様に、加入している契約内容をしっかり説明し、補償内容の現状確認を徹底していることである。それにより、お客様をして、何が補償・保障され、また何が不足しているかを自ら気づいていただき、その対応を促すことを基本動作として徹底していることである。そのための組織内での事前準備に仕組みとして時間を割いているのである。

損保メインできた代理店は、今では、生保や新種にそのウイング（翼）を広げた総合販売スタイルをしているとはいっても、その構成割合からすると、自動車や火災のお客様が圧倒的に多いはずである。こうしたお客様に果たしてどれだけ生保や新種保険を付けていただけているだろうか。「ついでに」提案しても容易に売れるものではない。複合販売に成果を上げている代理店には、熱き思いと全員参加型のミーティングの徹底など独自の仕掛けがある。

お客様に、保険を、わかりやすく目に見える形で見える化し提案できているか。例えば個人客の場合、家庭（家族）における付保状況を一覧化して提案できているか、補償の穴があればそれはどうしてそうなのか、その穴をふさぐ方法はどのような手段があるのかを的確に説明、提起できているか。

また保険付保が適するののか、保険以外のリスク対応手段が適するののか、を問題提起できるかも大事である。

◇補償・保障の座標軸を提起

こうしたリスクの交通整理、補償・保障の座標軸を簡潔明瞭に示せれば、お客様としても自分の現状把握、何が必要か、また保険商品でリスクカバーができるのかどうかを納得づくで理解できるわけだ。

保険に関してはこうしたリスク管理の視点に立てば、損保も生保もない、要はお客様を守るために、保険でできることは何か、使える保険はどれか、効果的な付保はどのようにすればよいか等、お客様の要望を踏まえた代理店サイドの構想力・想像力（自らをお客様の視点で考え提案する）が問われるのである。

◇急がば回れのミーティングの徹底

こんな代理店もある。毎日午前中かなりの時間をかけ、営業、内務スタッフ全員参加のミーティングに時間を割き、担当者ごとの担当事案の進捗状況をきめ細かくチェックし、アイデアを出し合い、対応の仕方や活動状況の相方まで検討し合い、情報を共有し、チーム一丸で営業を推進する仕組みをとる。そのことで、担当者ごとの得手不得手を皆が理解し、得意を伸ばすことと弱点補強のための問題解決支援をするのである。こうした組織内の連携・協力が進んでいくと大きな力となり、また生産性も向上する。この代理店の場合も営業活動のほとんどは午後からだが、組織的な協力のおかげで、午前中から営業活動をしていた以前と比べ、電話対応含め効果的な顧客とのコミュニケーションが確立でき、生産性は著しく向上したという。

こうした基本動作ができていない代理店の営業活動は、一様に、場当たりの、無手勝流の、後手後手の対応となるため、全く成果に結びつかないどころか、お客様の心すら繋ぎ止められないことになる。自らの主体的な営業の在り方を顧みることにはつらいので、原因を外の世界、例えば、市場環境や保険会社施策、商品、ライバルチャネルなどに持っていきたい気持ちはわかるが、一方で、成果を上げている代理店とそうでない代理店がいるとなると、その差はどこから来るのかを真摯に検討してみなくてはならない。

結論から言うと、「契約確認」など基本動作の徹底とチェックがまずは問われているのだ。

◇個人も法人もリスク管理の視点が不可欠

お客様にとって身の回りのリスクとは何か、事業法人が抱えるリスクとは何か、まさにリスク管理、リスクマネジメントの観点からの、お客様が膝を叩いて納得し感動する提案が改めて求められる時代になっている。

こういうと当たり前聞こえるが、実は火災保険や自動車保険など個別の保険商品がまずありきという考え方とはかなり違う。例えば保険を提案するにあたり、お客様のリスク分析に基づき、保険付保の現状確認を的確にされているか。保険を付けていたとしてもどんな条件の時に保険金が出るか、保険金が支払われない要件は何かを的確にお客様に伝えられているかどうか。

こうしたことをわかりやすく目に見える形で見える化し提案できているか。例えば個人客の場合、家庭(家族)における付保状況を一覧化して提案できているか、補償の穴があればそれはどうしてそうなのか、その穴をふさぐ方法はどのような手段があるのかを的確に説明、提起できているか。

また保険付保が適するのか、保険以外のリスク対応手段が適するのか、を問題提起できるかも大事である。

こうしたリスクの交通整理、補償・保障の座標軸を簡潔明瞭に示せれば、お客様としても自分の現状把握、何が必要か、また保険商品でリスクカバーができるのかどうかを納得づくで理解できるわけだ。

こうしたリスク管理の視点に立てば、損保も生保もない、要はお客様を守るために、保険でできることは何か、使える保険はどれか、効果的な付保はどのようにすればよいか等、お客様の要望を踏まえた代理店サイドの構想力・想像力（自らをお客様の視点で考え提案する）が問われるのである。FP（ファイナンシャルプランニング）などもパーソナルリスクマネジメントという観点から整理した方が的確な対応が取れるのではないか。



(保険ジャーナリスト、inswatch 編集人)

芥見から小屋名の追分（郡上街道）

郡上街道は、芥見の集落をしばらく行くと津保川に着きます。かつて「牛子の渡し」があったところで、場所は平成17年に廃止された名鉄美濃町線の鉄橋があった付近にありましたが、のち、江戸後期には上流に移っています。

このあたりの津保川では小規模ながら筏流しが行われており、ここで筏を組んで岐阜町方面へ運ばれていました。現在では、まったく面影がありません。

そんな、津保川を渡ると関市となります。このあたりの白金地区は、かつては旗本村瀬氏、幕府領、さらには岩村藩領と支配者が変わっていったところです。つまり東濃の岩村藩の飛び地があったということです。

ちなみに、江戸後期の永井氏加納藩の石高は3万2千石でしたが、そのうち9千石は摂津、河内（いずれも大阪府）に飛び地のように領地があり、佐太（守口市）に陣屋を置いていました。これで分かるように大名の領地は一塊ではなく各地に分散するようであったのです。

美濃でもまるでパッチワークのように分散して幕府領を始め尾張藩など大名や旗本の領地がありました。岩村藩のような例は近江、越前、三河など全国各地で普通に見られたのです。

郡上街道に戻ります。郡上街道は「牛子の渡し」を渡り、小金田中学校あたりを通り、円通寺、観修寺付近の小屋名の集落の中を折れ曲がるように通り、現在の国道156号に出ます。

さて、現在、国道156号と国道248号との小屋名の交差点に、高さ2メートルほどの石柱状の道標があります。ここを国道156号で北に進めば郡上、さらに油坂峠を越え越前方面に、北東に進めば関の中心部を経て飛驒や美濃加茂方面に向かう分岐点です。ここに



にある道標は「左 郡上街道」「右 飛驒街道」と刻まれています。さらによく見ると、「明治十八年……」とも刻まれています。つまり、江戸時代を過ぎて明治時代に入っても、この道標が必要だということが分かります。これは全国各地の街道でもみられますが、鉄道や国道の発達によって建立されなくなってしまいますので、そういった意味でも貴重なのです。

ところで、この道標、江戸時代は、この交差点から国道156号を郡上方面に少し進んだ小さな交差点にありました。実はここが江戸時代の郡上方面と飛驒方面の分岐点だったのです。つまり「追分」でした。そののち、この付近の国道156号や国道248号が拡幅など整備されると、それにともない、この道標は近くに移転し、さらに現在地に移転していったのです。現在でも立派な交通標識の役目をしているようです。

こんな経歴を持った道標に導かれ、郡上街道を離れ飛驒街道に入り飛驒へ向かいます。ここからが関経由、飛驒街道のスタートです。

（まつお・いち） ライフワークは地域史(近世交通史)。

監修に『岐阜地理・地名・地図の謎』（実業之日本社）、『写真アルバム飛驒の昭和』（樹林舎）がある。

＜ 今月の復旧事例 ＞ 車が駐車場のフェンスに当たりました。



車同士の出会いがしらで、駐車場のフェンスを破損しました。
危険なため仮養生をしてから、復旧に当たりました。

＜ 場所 ＞ 豊橋地域

＜ 費用 ＞ ￥314,280- (税込み)



施工前



施工後

岐阜県損害保険代理業協会 提携会社

一級建築士在籍の **ホームステップ (株) イケダ**

☎ 058-271-6788 (24時間即日対応)

情報ツールとして【クルマの下取り・買取りサービス】をご活用ください！

★★★ ディーラーの査定とは違い、実際の中古車取引相場で査定します。

車によっては、年式・キョリに関係なく需要があり、大きく金額に差が出ます！ ★★★

【お客様のこんなときにご利用ください！】

- 車の乗替を検討 : 下取り額が納得できない。下取り額は妥当なの？
⇒ **「ディーラー下取りと比較してみてください！」**
- 売却だけ検討 : どこに売れば？ 高くて信頼できる会社に売りたい！
⇒ **「賛助会員のJCMにお任せ下さい！」**
- ディーラーでは値が付かない・・・ : 引取費用が掛かると言われた。
⇒ **「古い車や事故車でもまずはご相談ください！」**



【岐阜県損害保険代理業協会 賛助会員のJCMなら安心満足！下取りよりもお得】

- ・ 宣伝・店舗等運営コストを抑えて買取り価格に還元、**高価買取り**を致します。
- ・ **無料出張査定**で手間や費用発生の心配がありません。ご指定場所まで訪問します。
- ・ **中古自動車認定査定士** (当社社員) が査定にお伺いし、対応いたします。
- ・ 売却を急かしたりせずお客様のご都合・代替のタイミングに合わせて対応します。
- ・ 車両代金は**現金決済も可能、名義変更手続きも無料で確実**に行います。

■■ 株式会社JCM名古屋支店

★担当 村瀬・安藤 まで

■■

TEL: 052-561-8899 / FAX: 052-561-8893 HP: <http://www.jcmnet.co.jp/daijyoku/>

バイクの 代車!



◆原付からハーレーまで幅広い車種をご用意! ◆ ご自宅や修理工場まで無料配送! ◆

レンタルバイク岐阜大垣店 〒503-0858 大垣市世安町3-16 **0120-4107-41**
マジオドライバーズスクール大垣校内

DRPネットワーク株式会社 が提供する「安心サービス」



5つの特典

- 1 引取・納車の作業が無料**
※車検・修理中の車検工場でのご利用です。車検・修理中の車検工場でのご利用です。
- 2 代車が無料**
※他工場にて保有の代車をご利用しています。
- 3 修理終了後ワンオーナー保証書を発行**
- 4 保険を使わない修理は工賃10%割引**
- 5 特別料金にて車検を実施**

DRPネットワーク株式会社

〒125-0053 東京都葛飾区鎌倉 3-18-1
TEL:03-3673-5552 <http://www.5552.co.jp/>

自動車総合修理工場ネットワーク
事故車の対応・修理は
トップネットワークのDRPネットワーク
加盟修理工場におまかせください。

お近くの加盟店工場までお問い合わせください。

- TEL / 携帯緊急連絡先
- | | | |
|----------|--------------------------------------|---|
| A | (有)オートライフ
〒504-0815 各務原市蘇原東栄町2-62 | 058-371-8288
前川 貞男 090-3159-6615 |
| B | ケイズモータース
〒500-8263 岐阜市西部新所3-250 | 058-276-8533
河村 健太郎 080-4215-4477 |
| C | BP MORIKEI
〒501-3956 関市保明1631 | 0575-28-2284
森 敬 090-8335-5603 |
| D | (株)大原自動車工業
〒500-8288 岐阜市中鞆2-107 | 058-271-5704
大原 孝司 090-1413-6630 |
| E | (株)タカパン
〒506-0004 高山市柳生町3-160 | 0577-32-2617
新井 典仁 0577-32-2617 |
| F | (有)大光塗装
〒501-6016 羽島郡岐南町徳田7-40 | 058-278-7505
武藤 勝也 090-3258-5908 |
| G | 三和钣金(有)
〒509-5116 土岐市鹿田浅野矢落町12-4 | 0572-55-3180
伊藤 貴弥 090-4112-5330 |
| H | 坪井钣金 おくるま専科
〒503-0837 大垣市安井町3-5 | 0584-81-3377
坪井 英伸 090-3449-5879 |
| I | (有)丸泰自動車工業
〒500-8127 岐阜市塩町1-6-3 | 058-245-6394
太田 祐司 090-1988-9626 |

日本全国対応 フリーダイヤル ハ ヤ ク ナ オ ス ●フリーダイヤルにご連絡いただければ、最寄りの弊社加盟店よりお引取りにうかがいます。

Free Dial **0120-849704**

岐阜県代協会員の皆様、当社はオリックスレンタカー店舗を運営しております株式会社タカサワと申します。
代車でお困りの際には、是非とも当社のレンタカーサービスをご利用ください！



メーカー系レンタカー会社ではないので、車種も豊富！

- 国産全メーカー・輸入車・特殊車両(冷凍車・福祉車・各種トラック)の豊富な車種の取扱いがあります。
店舗在庫がなくても、グループ内の豊富な車両の中からご要望に添えるお車を探します！

お急ぎの案件でも、迅速にご手配致します！

- 突然の事故… 代車を一刻も早くお客様の元へ手配しなければ…
そんな時はお任せ下さい！ 配車スタッフの多い当社なら迅速にご手配させていただきます！
もちろん土・日・祝日のご対応もお任せ下さい！
- 工場様へのお届けはもちろんのこと、お客様ご自宅や事故現場へのお届けにも対応させていただきます！

車種・料金などお困り案件承ります！

- 車種と料金が合わないと思う場合でもご相談下さい。豊富なラインナップよりご提案いたします。
- 代車特約など料金上限がある場合でもお気軽にお問い合わせ下さい。ご相談いたします。

代車でお困りの際、まずは岐阜県最寄り店舗へご連絡下さい！

- 岐阜県・愛知県はもとより、全国のネットワークからご手配致します。

株式会社タカサワ 東海地区オリックスレンタカー店舗一覧

愛 知 県	1	金山駅前店	5	名古屋駅太閤通口店
	2	春日井店	6	小牧豊山店
	3	一宮店	7	刈谷店
	4	津島店	8	岡崎店

岐 早 県	9	岐阜店	TEL 058-288-8543	岐阜市安島町5-9
	10	大塚店	TEL 0584-93-0543	大塚市長坂町小部1215-2
	11	多治見店	TEL 0572-21-0543	多治見市善松町1-9-1

お客様満足度 93% の実績

引取納車東海3県下

▶ **ご指定の場所にお伺い。**

PCや携帯で進捗状況が確認できる

▶ **「目に見える」安心サポート。**

お客様より絶賛されています

▶ **永久保証で安心のアフターサービス。**



無料代車
120台以上

お電話1本で簡単手続き。安心スピード対応。



0120-102-595

24時間
対応

鈹金・塗装
fabrica

事前にサービス登録が必要となります。ご登録がお済みでない代理店様はお気軽にお電話ください。

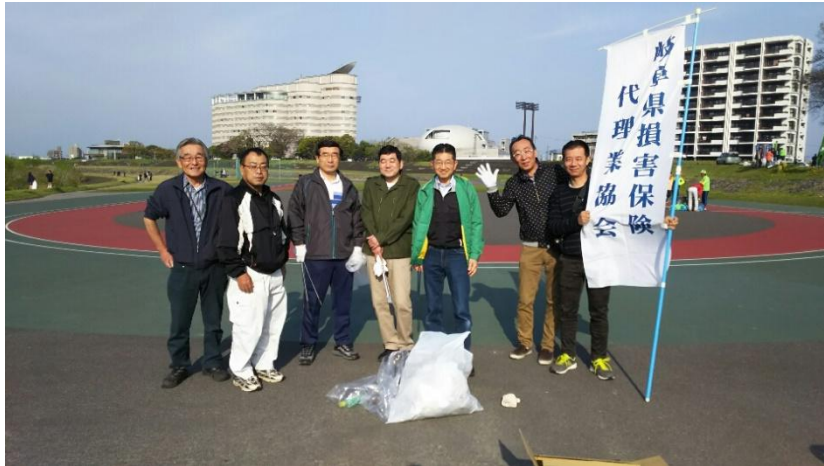
委員会報告

【CSR委員会】

★平成29年度 第1回 長良川を美しくしよう運動 に参加しました。

日 時 : 平成29年4月16日(日) 7:00 ~ 場 所 : 岐阜市長良川河川敷・堤防
参加者数 : 9名 報告者名 : 高橋 励

当日は、大変良い天気にも恵まれ、9名のみなさんにご参加いただきました。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。長良川清掃活動は参加団体も多く、代協の大きなPRにもつながります。今回ご都合が合わなかった皆様も、ぜひ次回にご参加ください



【組織委員会】

代協ニュース3月号にてご紹介いたしました新入会員のアイブライト(株)様のご紹介者名に誤りがございました。正しくは下記の通りです。お詫び申し上げます。

岐阜支部東ブロック : アイブライト(株) 代申 東京海上日動火災保険(株)
店主 山田 祐司 様
〒502-0015 岐阜市雄絵柳町1-23 コンセプトビル3F
TEL 058-214-7195 FAX 058-214-7196 (平成29年3月13日入会)
紹介者 (有)川島保険事務所 川島邦夫 様

編集後記

数年前に社員旅行で熊本を訪れた際、熊本城に行きました。城マニアではありませんが、松本城や岡山城、そしてこの熊本城は黒いお城で、私の好きなお城の1つです。震災から1年、熊本の復興、そしてこの熊本城の修復を心から願うばかりです。

(西濃支部 北村)

発行日/平成29年 4月25日

責任者/畦地正治 発行/広報機関誌委員会

〒501-0204 瑞穂市馬場春雨町1-50-2 Tel 058-329-0050 Fax 058-329-0040

E-mail : gfdaiikyo@opal.ocn.ne.jp <http://gifudaikyo.or.jp/>

【編集室メンバー】

徳永 徹、北村篤俊、水川博之、後藤信男、後藤哲裕、今津洋平、小倉治実、清水公男
畦地正治、森 信彦